

生体機能検査学実習Ⅱの紹介

本実習は臨床検査学科 3 年前期の必修科目として設定されています。学生が互いに検者と被検者になり、脳波検査、呼吸機能検査、超音波検査について理解を深めることを目的としています。

生理検査の性質上、学生間の距離はどうしても近くなりがちです。そこでコロナ対策として①実習室と待機室を分けることによる密集の軽減②実習日朝の検温③マスク・手袋・フェイスシールドの使用④手指および器具の消毒⑤キーボード等のラップによる保護⑥頻回のシーツ交換など、感染予防を徹底し安全な実習を心掛けています。

(臨床検査学科 小河佳織、大栗聖由、末澤千草、太田安彦、樋本尚志)

